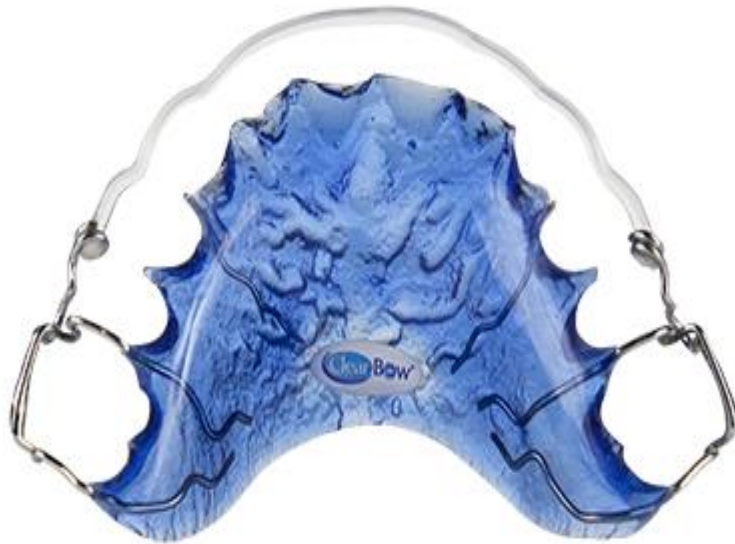


クリア リテーナー ワイヤー クリアボウ



クリアボウ使用の装置例

医療機器認証番号: 227AKBZX00049000
販売名: クリアボウ
一般的名称: 歯列矯正用歯牙維持装置
管理医療機器

製品マニュアル

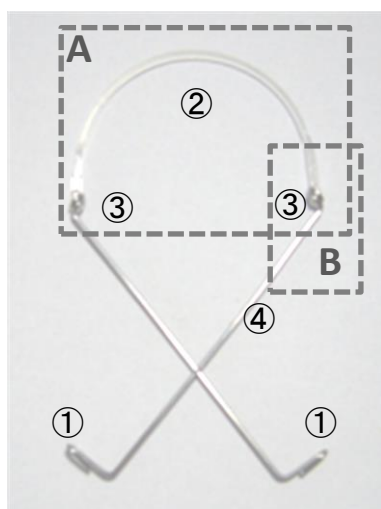
本製品を正しくご利用いただくために、ご使用前に必ずお読みください。

クリアボウは保定用装置（リテーナー）に使用する透明なワイヤーです。優れた審美性と、透明でありながら取扱いが楽で丈夫な装置を患者さんにご提供できます。そしてクリアボウで製作された装置は、長くその美しさを保ちます。

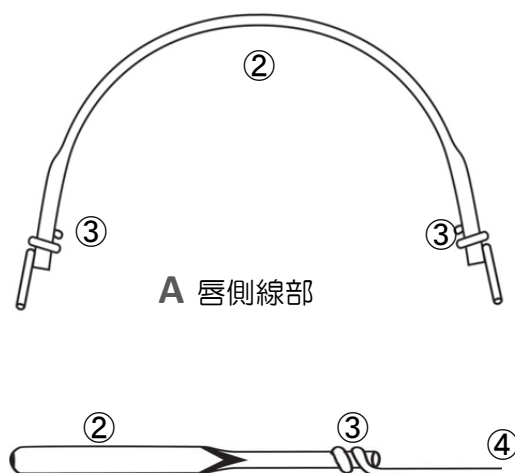
クリアボウ 製品の概要

各部位の名称

- ① ループ
- ② プラスチックストラップ
(クリアワイヤー)
- ③ コイル ジョイント
- ④ メタルコネクター



製品の全体の形態



A 唇側線部

B 唇側線とメタルコネクターの接合部

クリアボウのサイズと種類

抜歯症例用

注文番号		アーチ長 (mm)	(適応範囲) 左右犬歯遠心間距離	入数
CBS-10005	ClearBow Extraction Case -5	62 mm	56 - 61 mm	5
CBS-10004	ClearBow Extraction Case -4	58 mm	52 - 56 mm	5
CBS-10003	ClearBow Extraction Case -3	54 mm	48 - 52 mm	5
CBS-10002	ClearBow Extraction Case -2	50 mm	44 - 48 mm	5
CBS-10001	ClearBow Extraction Case -1	45 mm	41 - 44 mm	5
CBS-1000A	ClearBow Extraction Case -A	42 mm	38.5 - 41 mm	5
CBS-1000B	ClearBow Extraction Case -B	39 mm	36 - 38.5 mm	5
CBS-1000C	ClearBow Extraction Case -C	37 mm	34 - 36 mm	5

非抜歯症例用

注文番号		アーチ長 (mm)	(適応範囲) 左右第1小臼歯 遠心間距離	入数
CBS-10015	ClearBow Non-Extraction Case +5	62 mm	71.5 - 76.5 mm	5
CBS-10014	ClearBow Non-Extraction Case +4	58 mm	66.5 - 71.5 mm	5
CBS-10013	ClearBow Non-Extraction Case +3	54 mm	61.5 - 66.5 mm	5
CBS-10012	ClearBow Non-Extraction Case +2	50 mm	57.5 - 61.5 mm	5
CBS-10011	ClearBow Non-Extraction Case +1	45 mm	54.5 - 57.5 mm	5
CBS-1001A	ClearBow Non-Extraction Case +A	42 mm	51.5 - 54.5 mm	5
CBS-1001B	ClearBow Non-Extraction Case +B	39 mm	49.5 - 51.5 mm	5
CBS-1001C	ClearBow Non-Extraction Case +C	37 mm	47.5 - 49.5 mm	5

クリアボウ リテーナー装置の製作方法

ステップ 1 正しいサイズのクリアボウを選択する

ステップ1で使用する主な材料：

- 1、クリアボウ ルーラー（製品に付属）
- 2、ヤスリ等

通法通り作業模型上でクラスプの製作とレジンによるプレート（床）の製作を行う。

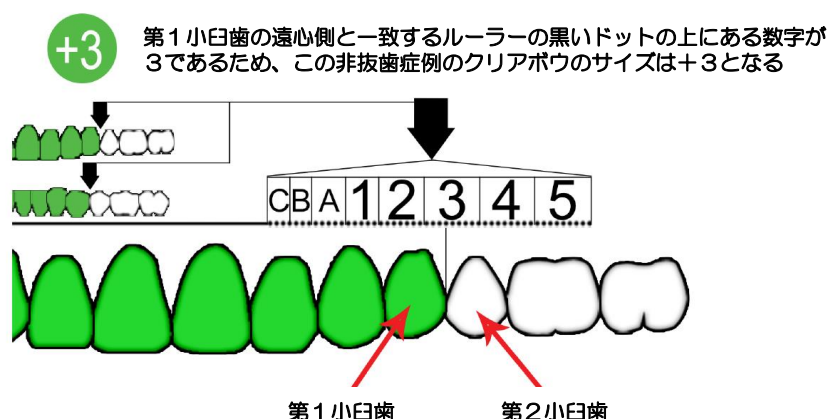
製作したレジン床とクラスプ ワイヤーが歯牙模型にしっかりと固定されていることを確認してください。これによりクリアボウがクラスプ ワイヤーを引き込んだり、ステップ4（P.6）でのサーモフォーミング作業でのレジン床の引き込みを防ぎます。クリアボウが完全に適合するまでトリミングや研磨のためにレジン床を作業模型から取り除いたりしないでください。

クリアボウ ルーラーは、正しいサイズのクリアボウを選定するために、非抜歯症例用と抜歯症例用の2つに分かれています。ルーラーの緑色部分は非抜歯症例の計測に使用し、青色部分は抜歯症例の計測に使用します。

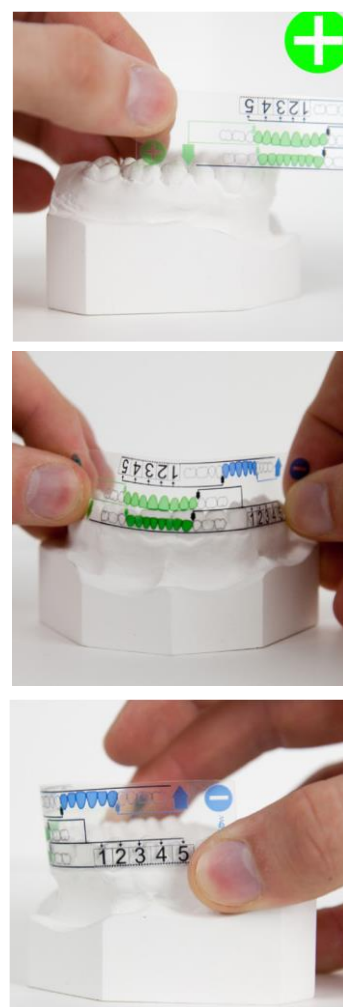
非抜歯症例の計測

1. 緑の矢印を左側の第一小臼歯の遠心側に合わせて保持します。
2. ルーラーの黒いドットの一つが、右側の第一小臼歯の遠心と一致するまで前歯の唇側に沿ってルーラーをしっかりと巻き付けてください。
3. 黒いドットの上にある番号が患者のクリアボウのサイズとなります。

計測例：



注意：ルーラーが二つのサイズの境目となる場合には大きいほうのサイズを選択します。



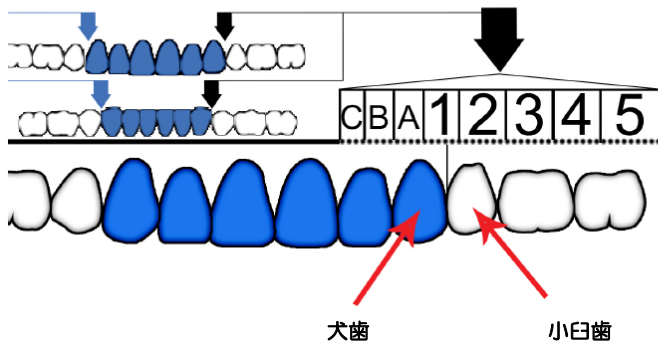
抜歯症例の計測

1. 青の矢印を左側犬歯の遠心側に合わせて保持してください。
2. ルーラーの黒いドットの一つが右側犬歯の遠心と一致するまで、前歯の唇側に沿ってルーラーをしっかりと巻き付けます。
3. 黒いドットの上にある番号が患者のクリアボウのサイズとなります。

計測例：

-1

犬歯の遠心側と一致するルーラーの黒いドットの上にある数字が1であるため、この抜歯症例のクリアボウのサイズは-1となる

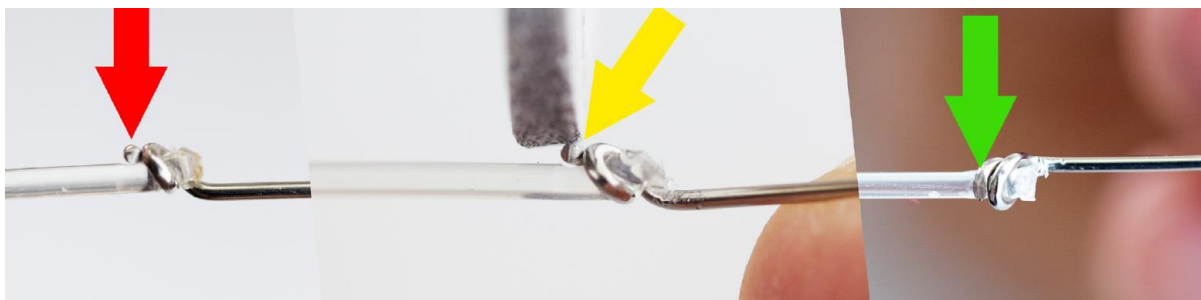


注意：ルーラーが二つのサイズの境目となる場合には小さいほうのサイズを選択します。



コイル部先端の処理

正しいサイズのクリアボウを選択した後、ヤスリなどでワイヤーのコイル部先端を滑らかなようになるように処理します。



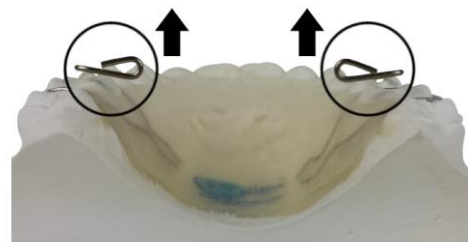
ステップ 2 ループ部の調整

ステップ2で使用する主な材料：

- 1、プライヤー類

作業模型にクリアボウを正しく合わせるため、メタルワイヤーの末端ループが歯の咬合面に位置することを確認してください。これは上顎用下顎用どちらのクリアボウ リテーナーにも当てはまります。

調整ループを絞る必要がある場合には、プライヤー等でコイルジョイントを保護してください。



ステップ 3 クリアボウのろう着

ステップ3で使用する主な材料：

- 1、濡らしたコットン、又はティッシュペーパー

ろう着の前

コイルジョイントを非抜歯症例では第1小臼歯の遠心側に、抜歯症例では犬歯の遠心側に合わせます。



ろう着の作業中

プラスチックが溶ける原因となるため、濡らしたコットン、又はティッシュペーパーでコイルジョイントを保護し、クリアボウから炎を遠ざけてください。



ろう着の後

歯牙とクリアボウの間に3-4mmの隙間ができますが、これは通常の状態です。



注意

ステップ4へ進む前に：

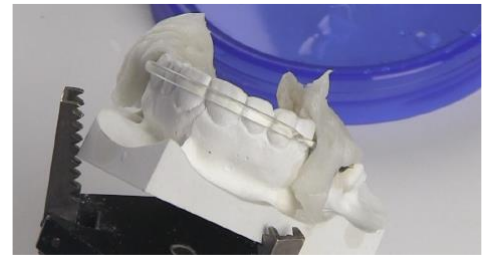
レジン床とワイヤーがしっかりと歯牙模型に固定されていることを確認してください。これによりクリアボウがワイヤー部を引き込んだり熱成型作業でのレジン床の引き込みを防ぎます。

ステップ 4 クリアボウを熱成型する

ステップ4で使用する主な材料：

- 1、ヒートガン
以下の説明はSteinel Ultra Heat SV 803 Heat Tool (120 volt) を利用した製作方法です。お手持ちのヒートガンを使用するときは、その製品に付属の使用説明書に従って製作してください。
- 2、ツイーザー
- 3、濡らしたコットン又は高吸収性ウェットティッシュペーパー
- 4、冷水を入れた小さな容器

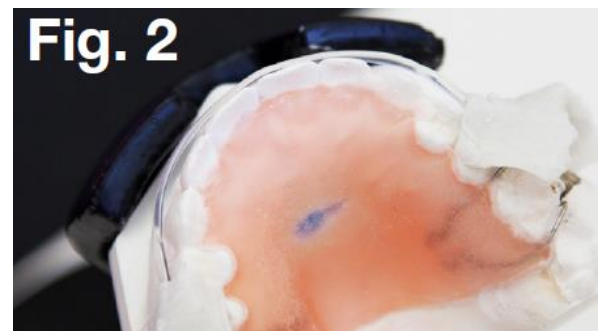
1. 熱成型を行う前にコイルジョイント部を十分な量のウェットティッシュペーパーで覆ってください。



2. Steinel Ultra Heat SV 803 Heat Tool (120 V)：ファンスピードスイッチをスライドさせてレベルⅢに合わせ、温度ダイヤルを4にセットします。



3. ツイーザーでクリアボウの中心を支えながら左右両側からクリアボウ全体を軽く熱します (Fig.1)。この時点ではプラスチック (クリアボウ) が歯牙に触れようとしてください (Fig.2)。ヒートガンの先端ノズルはクリアボウから2.5cm以上離してください。



4. クリアボウの成型はどちらかのコイルジョイントの近心から始めます。成型は以下のように簡単なテクニックで行うことができます。加熱成型が終了した部位から次の部位の成型に移るときは、既に成型済の部位をウェットティッシュ等で覆ってから次の成型作業を開始してください。

熱する (HEAT)

ヒートガンのノズルを唇側面の成形が必要な箇所に向けて2-3秒間熱してクリアボウを軟化させます。



締め込む (SQUEEZE)

表面が滑らかなプライヤー等で屈曲部を成形するためにプラスチック部をしっかりと締め込んで保持します。



ヒートガンを離す (REMOVE HEAT)

ヒートガンを離しても屈曲部に圧力を加え続けてください。



冷却 (COOLING)

屈曲部とツイーザーがともに冷却したところでツイーザーの圧力を弱めます。



5. 完全に適合するまでこれらの作業を繰り返します。この手法で行う時は短時間で（90秒以上の時間をかけない）作業を行うようにしてください。

適合が終了した後の作業

6. バーや熱したワックスナイフを使用してコイルジョイント部からはみ出たプラスチックを取り除きます。
7. 通法通り床の研磨作業を行います。トリミングバーやバフホイール、又はシャイニングバフがクリアボウに接触しないように注意してください。

完成した様々な形態のクリアボウ リテーナー



クリアボウ リテーナー 使用時の注意事項

プラスチック（レジン床）部分や、クリアボウ（唇側のクリアワイヤー）の洗浄には、毛先の柔らかい歯ブラシ、又は綿棒や表面を傷つけない摩耗防止泡タイプの洗浄剤を使用することが推奨されます。これによりプラスチック部分を滑らかでつやのある状態に保ちます。リテーナー洗浄タブレットを使用することも可能です。



クリアボウ リテーナーを色付きのマウスウォッシュ洗浄剤に長時間（5時間超）定期的に浸すことは推奨されません。洗浄剤に含まれる色素染料により一定時間後はプラスチックが着色することがあります。